

令和8年度気仙沼市第1回震災の教訓等を伝承する職員研修が行われました (2026/7/9)

テーマ：人材育成、震災伝承

会 場：気仙沼市地域交流センター（ワン・テン庁舎内）

2026年7月9日（木）、気仙沼市地域交流センター内において、令和8年度第1回気仙沼市職員研修が行われました。本研修は、令和8年度に気仙沼市職員として採用された方を対象に、気仙沼市が主催、当研究所、三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社が協力して開催したものです。同様の研修は毎年実施されています。

「震災の教訓等を伝承する職員研修」をテーマに、災害時の対応や東日本大震災の教訓について本市の職員間で伝承する機会を設け、教訓等を活かした災害対応が出来る人材を育成する事を目的に開催されました。当研究所からは佐藤翔輔准教授（防災社会推進分野）がアドバイザーとして参加し、講評を行いました。

当日は全体説明の後、初めに気仙沼市建設部都市計画課課長補佐菅原明氏による東日本大震災における避難所運営について、発災直後、それ以降の避難所開設時の様子、運営や工夫したこと、今後の課題について説明がありました。

続いて、三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社秋元康男氏から、「応援・受援」についてお互い助け合う事の大切さ、避難所状況把握、要配慮者への対応について説明しました。その後グループワークが行われ、本日の講話とワークを踏まえて、私が考える避難所運営のポイント、円滑な災害対応のために何が出来かなどを話し合いました。

最後に、佐藤准教授より、「実際は想定通りにいかないことばかり、避難所に暮らす人達がルールや目標を作れるよう、地域との関わりを大事にし、関連死を出さない事が大事」との講評がありました。当日は19名が参加し、活発な議論が行われました。



会場の様子



講話の様子①
市職員



講話の様子②
秋元康男氏



グループワーク



グループワーク後の発表



講評：佐藤翔輔准教授

文責：小野寺克江（気仙沼分室スタッフ）
担当教員：佐藤翔輔（防災社会推進分野）